

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_文書理解 I		(TCM107)
講義名 (コード)	TCM_文書理解 I_A		(TCM107A)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	2単位
授業担当者	劉 琦	時間数	30時間
成績評価教員	劉 琦	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材となる。
全体の内容と概要	前項の「到達目標・目的」に基づき、本講義は「通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につける」ことを中心に、受講者の日本語のレベルを高めるために行う。具体的には日本語能力試験 (N1) に合格することを目標とし、文字・語彙および文法の解説や練習を実施する。テキストは『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用する。 また、文字、語彙、文法、読解、聴解のいずれも医療通訳の能力を高めるためのものなので、練習問題の解答を書くだけでなく、問題と解答を朗読し発音や口語能力の練習も行い、さらに時間があれば問題を中国語に訳す。
授業時間外の学修	内容が多く、授業時間だけでは全部学習することが難しいと思われるため、一部の練習問題は自宅で完成し、授業では解説を中心に講義を進めることもある。
履修上の注意事項等	受講生の個人差があると考えられるため、下記授業計画は実情に応じて進度を調整する場合もある。なお、N1を受験して合格した受講生には学期末の成績評価を加算する。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	日本語の動詞や形容詞、副詞の慣用表現に対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 「言葉を覚えよう1～4」(P13、14、56、156)
2	練習問題を通して日本語の文字や語彙、文法などに対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 ①漢字読み・文脈規定1日目(P16)、②言い換え類義・用法1日目(P26)、③文法方式の判断・文の組み立て1日目(P36)、④文章の文法1日目(P46)
3	練習問題を通して日本語の文章表現に対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 読解篇①内容理解(短文)1日目(P66)、②内容理解(中文)1日目(P86)
4	練習問題を通して日本語のより複雑な文章表現に対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 読解篇①内容理解(長文)・統合理解1日目(P116)、②主張理解(長文)・情報検索1日目(P136)
5	練習問題を通して日本語を聞いて理解する能力を上げる。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 聴解篇①課題理解・ポイント理解1日目(P168)、②概要理解1日目(P178)
6	練習問題を通して日本語を聞いて理解し対応する実力を上げる。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 聴解篇①即時応答1日目(P183)、②統合理解1日目(P188)
7	練習問題を通して日本語の文字や語彙、文法などに対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 ①漢字読み・文脈規定2日目(P18)、②言い換え類義・用法2日目(P28)、③文法方式の判断・文の組み立て2日目(P38)、④文章の文法2日目(P48)
8	練習問題を通して日本語の文章表現に対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 読解篇①内容理解(短文)2日目(P70)、②内容理解(中文)2日目(P92)
9	練習問題を通して日本語のより複雑な文章表現に対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 読解篇①内容理解(長文)・統合理解2日目(P120)、②主張理解(長文)・情報検索2日目(P140)
10	練習問題を通して日本語を聞いて理解する能力を上げる。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 聴解篇①課題理解・ポイント理解2日目(P170)、②概要理解2日目(P179)
11	練習問題を通して日本語を聞いて理解し対応する実力を上げる。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 聴解篇①即時応答2日目(P184)、②統合理解2日目(P189)
12	練習問題を通して日本語の文字や語彙、文法などに対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 ①漢字読み・文脈規定3日目(P20)、②言い換え類義・用法3日目(P30)、③文法方式の判断・文の組み立て3日目(P40)、④文章の文法3日目(P50)
13	練習問題を通して日本語の文章表現に対する理解と応用の熟練度を深める。	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』を使用 読解篇①内容理解(短文)3日目(P74)、②内容理解(中文)3日目(P98)
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	試験問題を解説する

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『JLPT N1日本語能力試験ベスト総合問題集』
参考文献・資料等	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著(厚生労働省配布)
備考	進度は変更になることがあります。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_日本事情 I	(TCM109)
講義名 (コード)	TCM_日本事情 I	(TCM109)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	浅沼 渉	時間数 30時間
成績評価教員	浅沼 渉	講義期間 春学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	日本での薬の販売についての歴史や法律について学ぶ。
全体の内容と概要	登録販売士に必要な知識、特に第1章「医薬品に共通する特性と基本的な知識」について日本語で理解していく。また日本語の薬の名称や成分名とその効用を覚え、さらに正しく発音・聴き取りができるようする。
授業時間外の学修	普段の生活でも敬語表現を使うように気をつける。
履修上の注意事項等	「薬学基礎 I」の授業と連動しているので、それぞれの授業の関連性を意識して取り組むこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医薬品の本質（食品との違い）について理解する	登録販売者試験について 1-I 1) 医薬品の本質
2	医薬品の本質（食品との違い）について理解する	2) 医薬品のリスク評価 3) 健康食品
3	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因について理解する	1-II 1) 副作用 2) 不適正な使用と有害事象
4	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因について理解する	3) 相互作用と飲み合わせ 4) 小児・高齢者・妊婦、授乳婦等への配慮
5	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因について理解する	5) プラセボ効果 6) 医薬品の品質
6	適切な医薬品選択と受診勧奨について理解する	1-IV 1) 一般医薬品で対処可能な症状等の範囲 2) 販売時のコミュニケーション
7	薬害の歴史を理解し、過去の薬害訴訟についておさえる	1-IV 1) 医薬品の副作用等に対する基本的な考え方 2) 医薬品の副作用等に関する主な訴訟
8	禁煙補助剤の働きと適正使用情報について理解する	3-XII 1) ニコチン置換療法 2) 禁煙補助剤の働き 3) 相互作用と受診勧奨
9	消毒薬の効果や成分、誤用時の対処法について理解する	3-XV 1) 感染症の防止 2) 消毒薬 3) 主な殺菌消毒成分 4) 誤用の際の応急処置
10	殺虫剤と忌避剤の効果や成分、適正使用情報について理解する	3-XV 2) 1) 主な衛生害虫 2) 主な殺虫成分と忌避成分 3) 殺虫剤と忌避剤の主な剤形
11	一般用検査薬の適切な使用や販売時の注意点について理解する	3-XVI 1) 尿糖・尿タンパク検査薬 3-XVI 2) 妊娠検査薬
12	医薬品医療機器等法の主要な条文について理解する	4-I 1) 医薬品医療機器等法の目的 2) 関連事業者・医療関係者の責務と国民の役割 3) 登録販売者と販売従事登録
13	前期の復習	
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医薬品登録販売者試験テキスト&要点整理」 薬事日報社
参考文献・資料等	
備考	進度は変更になることがあります。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_薬学基礎 I	(TCM111)	
講義名 (コード)	TCM_薬学基礎 I	(TCM111)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	2単位
授業担当者	ホイ リキ ニコル	時間数	30時間
成績評価教員	ホイ リキ ニコル	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医薬品に関する全般的な知識を修得し、日本の病院、薬局での医薬品使用実態を理解する。現場にて医師、医療者の医薬品説明を理解し、医療通訳者として患者に正確に伝える能力を修得する。
全体の内容と概要	講義と演習・模擬通訳を組み合わせ、受け身で講義を聴くだけでなく、毎回生徒に参加、発言させる。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	日本医薬品登録者試験ご説明 医薬品の定義・リスク評価方法	講義 医薬品登録者試験の解説・医薬品の概論
2	剤形ごとの違い 適切な使用方法	講義 薬剤形ごとの適切な使用方法
3	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・消化系
4	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・泌尿系系
5	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・呼吸器系
6	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・循環系
7	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・中枢神経系
8	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・中枢神経系
9	薬は体内でたどるルート	講義 医薬品の働き仕組み
10	薬は体内でたどるルート	講義 医薬品の働き仕組み・復習
11	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・目・耳・鼻・皮膚などの感覚器官
12	人体各器官の機能を理解する	講義 人体の構造と働き・骨格系
13	まとめて復習	講義 前期講義の復習、テスト準備解説
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医薬品登録販売者試験テキスト&要点整理」 薬事日報社
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_キャリアデザイン I	(TCM117)
講義名 (コード)	TCM_キャリアデザイン I	(TCM117)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	伊藤 玲	時間数 30時間
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間 春学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自己のライフキャリアを見つめなおし、多様なキャリア形成の基礎を養うこと。基本となる知識を調査・発表できるようになること。希望する進路に応じてグループごとに外部進路情報を主体的に調べ発表する。
全体の内容と概要	専門学校へ進学した意味や目的を再確認し、必要なキャリア形成の知識・スキルを自ら調べてアウトプットできるようにする。
授業時間外の学修	授業時間中にわからないことは補助プリントを活用し自分で調べること。授業時間内でのインプット（講義）は最低限とする。不明点は授業時間外に学習者が調べ授業時間内に質問することとする。
履修上の注意事項等	学習者が自ら調べ、自分の意見をアウトプットさせて参加者のフィードバックを積極的に受けるスタイルとする。教員は学習者の発言を促し、授業全体をファシリテートすること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション、学習の流れ	講師自己紹介、学習の流れ、就職活動スケジュール、進学活動スケジュールの確認。ペーパータワーを使ってチームでの協力することの学びを得る。
2	外国人の働き方について知る①	外国人留学生は特定技能1号(外食)マイページ登録をおこなう。求められる日本語力、日本社会が外国人採用をするための心構えについて知る。
3	2年間の学びの目標を考える。	2年間の目標、2年後の卒業式をイメージしてありたい姿を描く。(必要に応じてマンダラチャートを活用)グループごとに発表
4	自己の特性を知る。	自己理解。タイプ論に基づいた自己分析ツールを活用し、自己の性格的特徴を知る。学校卒業後進路希望アンケートの実施。
5	自己の進路の情報を集める	「進学」「就職」「起業」「海外留学」の4チームに分かれ、各進路での2年間で取り組むべき事柄、チームの役割、中間目標について調査する。
6	身だしなみ	就職活動で使用するスーツ着用のポイントを知る。「メラビアン法則」に基づき視覚情報の重要性を知る。
7	インターンシップについて理解する	インターンシップとは何か。目的やインターンシップの効果について理解する。「マイナビ2026」登録。きづくインターンシップについて知る。
8	中間発表	「進学」「就職」「起業」「海外留学」の4チームごとに各15分間のプレゼンテーション。各チームごとで振り返り。自己の特性や強みを振り返る。
9	外国人の働き方について知る②	日本国内の外国人労働者数、在留資格(特に特定技能1号)、求められる日本語力、日本社会が外国人採用をするための心構えについて知る。
10	就職活動報告	就職活動を終えた先輩の声を聴き、自己の就職活動の糧とする。
11	企業研究	企業を招き、事前に予習した学習内容に基づき質問しながら企業理念・事業概要・ビジネスモデルについて理解を深める。
12	進学について	3年次編入、大学進学・専門学校 conditions、今から準備すべきことを知る。
13	最終発表	グループ発表成果を持って前期評価とする。
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	外国人留学生のための就活ガイド2025
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	TCM_医療知識基礎 I		(TCM119)
講義名 (コード)	TCM_医療知識基礎 I		(TCM119)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	8単位
授業担当者	山本樹実加、王柳艶	時間数	120時間
成績評価教員	山本樹実加、王柳艶	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	山本樹実加、王柳艶	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	医療通訳として必要な医療基礎知識を身につける。
全体の内容と概要	『からだのしくみ事典』を基礎テキストとし、解剖学・生理学の視点から人体の構造と機能を理解し、関連する疾病を病理学的に分析して症状・治療への理解を深める。
授業時間外の学修	毎回、授業開始15分前に前回内容に関する問題を提示し、学生が回答する形式で復習を行う。この取り組みを授業時間外の学修として評価し、平常点に反映する。
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医療通訳者のための人体基礎	人体構造、バイタルサイン
2	呼吸器構造について理解	呼吸器構造に関する説明とスケッチ、肺の区分、上気道構造
3	呼吸器構造について理解	上気道・下気道構造
4	呼吸器の仕組みについて理解	ガス交換と呼吸の仕組み
5	呼吸器系疾患について理解	感染症、間質性肺炎と肺癌など
6	必要検査と治療方針	主な症状、身体所見、検査と治療
7	循環器構造について理解	心臓構造の説明、スケッチとは機能
8	循環器の仕組みについて理解	血液循環の仕組み
9	循環器の仕組みについて理解	血管、血圧の仕組み
10	循環器系疾患について理解	狭心症、心筋梗塞、高血圧と大動脈瘤など
11	必要検査と治療方針	主な症状、身体所見、検査と治療
12	血液の仕組みよ働きについて理解	血液のしくみ・機能、リンパ系のしくみ・機能と主な血液疾患
13	復習	期末試験準備のレビュー・練習問題
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	骨格・関節 【講義内容の理解、専門用語の読み・書く】	からだのしくみP54~64；厚生労働省の資料、PDF資料など
2	骨格・筋肉 【講義内容の理解、専門用語の読み・書く】	からだのしくみP66~76；厚生労働省の資料、PDF資料など
3	骨格・筋肉・骨の腫瘍【理解、読み・書く】	からだのしくみP78~82；厚生労働省の資料、PDF資料など
4	目のしくみ；病気【理解、読み・書く】	からだのしくみP84~89；厚生労働省の資料；PDF資料など
5	耳のしくみ；病気【理解、読み・書く】	からだのしくみP92~99；厚生労働省の資料；PDF資料など
6	課題の日	課題の日
7	鼻・口腔；病気【理解、読み・書く】	からだのしくみ100~114；厚生労働省の資料；PDF資料など
8	皮膚；病気【理解、読み・書く】	からだのしくみ116~126；厚生労働省の資料；PDF資料など
9	脳について【理解、読み・書く】	からだのしくみ P 20~28；厚生労働省の資料；PDF資料など
10	脳・脊髄について【理解、読み・書く】	からだのしくみ P 30~38；厚生労働省の資料；PDF資料など
11	神経系1【理解、読み・書く】	からだのしくみ P 40~44；厚生労働省の資料；PDF資料など
12	神経系2【理解、読み・書く】	からだのしくみ P 46~52；厚生労働省の資料；PDF資料など
13	総復習	からだのしくみ；厚生労働省の資料；PDF資料など
14	前期期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	からだのしくみ事典
参考文献・資料等	適宜配布
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_医療事務基礎 I	(TCM121)	
講義名 (コード)	TCM_医療事務基礎 I	(TCM121)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	4単位
授業担当者	安部 正美	時間数	60時間
成績評価教員	安部 正美	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医療事務の主たる目的である診療報酬請求事務の基本知識を学び、診療報酬明細書（レセプト）の正しい作成方法を学ぶ。
全体の内容と概要	医療事務の役割、医療保険制度の概要、診療報酬各項目の名称、点数算定方法、請求の流れを学び、診療報酬明細書を作成する。テキスト、プリントを使い、正しい診療報酬明細書の作成の仕方を学ぶ。
授業時間外の学修	テキスト・プリントの復習、課題作成を行うこと。
履修上の注意事項等	項目ごとに授業を進める為、欠席すると診療報酬明細書が作成できなくなってしまうので注意する。電卓を用意する。また、疑問点などがある場合は早めに担当教員に質問すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医療事務の役割・医療保険制度の仕組みを理解する	・医療事務の役割 ・診療報酬明細書について ・医療保険制度 ・保険の種類や請求先について
2	初診料	・初診料 ・時間による加算について ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
3	再診料	・再診料 ・外来管理加算について ・演習問題 ・診療報酬明細書作成 ・理解度テスト
4	投薬料	・薬の種類について ・薬剤の計算方法について ・調剤料、処方料、調剤技術基本料、処方箋料
5	投薬料	・演習問題 ・診療報酬明細書作成
6	医学管理料	・特定疾患療養管理料、生活習慣病管理料、薬剤情報提供料、 外来栄養指導料、診療情報提供料
7	注射料	・注射の種類について ・薬剤料、手技料算定方法
8	注射料	・演習問題 ・診療報酬明細書作成
9	1～8の内容を復習し、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本〕 ・診療報酬明細書作成
10	処置料、手術料、麻酔料	・処置料 ・創傷処置、熱傷処置 ・手術料 ・麻酔料
11	検査料	・検体検査料、検体検査判断料、実施料、採血料 ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
12	検査料	・生体検査料 生体検査判断料、実施料 ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
13	画像診断料	・X線診断料、コンピュータ診断料 ・演習問題 ・診療報酬明細書作成
14	演習問題により、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本〕 ・診療報酬明細書作成
15	演習問題により、診療報酬明細書を作成する	・演習問題〔基本〕 ・診療報酬明細書作成

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	診療報酬請求の実務・演習 ・医科診療報酬点数表 ・その他随時プリント配布
参考文献・資料等	適宜配布
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名(コード)	TCM_医療通訳基礎 I		(TCM123)
講義名(コード)	TCM_医療通訳基礎 I_A		(TCM123A)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	4単位
授業担当者	劉 琦、伊東 かつみ	時間数	60時間
成績評価教員	劉 琦、伊東 かつみ	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材になる。
全体的内容と概要	前期では主に4段階に分けて初歩的な訓練を行う。(1)発音の訓練。①日本語の発音の分類、②発音練習の方法の理解と実践、③有効な記憶方法の基礎を学ぶ。④日本語の漢字の音読みと普通語の変換原則(2)体の部位を日本語で反応する練習。モーラとNLPの応用でペア練習(3)不自然な日本語の改善:イ形容詞とな形容詞の間違い分析と改善(4)厚生省の医療通訳;1-①通訳のプロセス、1-②文化をどう訳すか、1-③文化をどう訳すか 1-④通訳者の真
授業時間外の学修	毎日必ず日本語のニュースを聞く。
履修上の注意事項等	通訳の文字資料および音声や動画資料を配布する場合は必ず予習しておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画（劉琦）		
回	到達目標	授業内容
1	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	中国語の朗読：正確な北京語の発音および日本語の朗読：正確な標準語の発音
2	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	日本語の朗読：正確な標準語の発音
3	記憶の訓練：10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内容は2度聞いて70%ぐらい記憶できる。	中国語の練習問題および日本語の練習問題、音声の書取
4	記憶の訓練：10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内容は2度聞いて70%ぐらい記憶できる。	日本語の練習問題、音声の書取
5	ヒヤリングの訓練：練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。	N2やN1あるいは留学生試験のリスニング問題
6	ヒヤリングの訓練：練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。	N2やN1あるいは留学生試験のリスニング問題
7	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
8	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
9	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
10	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
11	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
12	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
13	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
14	期末試験	春学期試験
15	追試・フィードバック	試験問題を解説する

4. 本授業科目の授業計画（伊東かつみ）		
回	到達目標	授業内容
1	発音の基礎；モーラの理解、正しい発音の事故訂正ができる。	オリエンテーション、・ゲームのルール、・成績の評価基準の説明、・日本語の発音基礎、・日中漢字変換の原則と実施練習
2	通訳者の倫理と原則が理解できる	●日本語の文化理解；端午の節句、●聞き取りと発音練習：ん、促音、長音・短音、濁音・清音 ●漢字の読み方発音練習 ●体の部位練習 ●N1 聞き取りについて、間違い探しと分析、●クイズ 変な日本語訂正●テキスト 伝え方
3	体の部位を日本語で感じ取れる聞きとりができない原因を理解できる	1-1. 通訳理論（1）訳すということ（2）文化をどう訳すか（3）通訳者が担う責任、（4）等価なメッセージとは（5）言語使用関（6）三者二言語モデル ○そこ、あそここの使用法○イ形容詞とナ形容詞の区別
4	通訳の技術の理解、自己評価が客観的にできるようになる	・通訳の必要な技術、 ・自己評価の仕方
5	日本人の空気の読み方への適用ができる。人間関係の問題対処方法を理解できる	・対人通訳とは ・日本人の空気の読み方
6	通訳者の基本的な立場が理解できる	・通訳とは ・医療通訳者の役割
7	日常使える尊敬語、尊敬語の規則を体で覚えらる	・敬語；尊敬語・体使った練習 ・場面演習
8	動詞の基本形と尊敬語と謙譲語がすぐに言えるようになる	・敬語；謙譲語 ・体を使った練習、・場面演習
9	敬語の活用がスムーズにできる	・敬語の復習・アクセント ・聞き取り ・使役形と受け身形、・られる：可能形、尊敬語、受け身
10	通訳の過程の理解	・受け身形の意味 ・通訳のプロセス
11	助詞の区別ができる、助詞を推測できる	・助詞の基本、固有名詞のアクセント・聞き取りの間違い分析
12	医療の倫理観を身に着ける	・通訳の倫理、・期末テストの範囲発表、準備
13	活字資料を朗読、通訳できる。	・期末テストの練習、間違い分析
14	前期期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	・間違いの分析と原因究明、対策、・夏休みの目標発表

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布）
参考文献・資料等	練習問題（活字、音声、映像など）を配布する 日本語基礎文法のppt
備考	進度は変更になることがあります。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	医療通訳		(TCM221)
講義名 (コード)	医療通訳 (簿記)		(TCM221)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2
対象コース	CM2	単位数	2
授業担当者	伊藤 玲	時間数	30
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間	前期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	本授業では、企業の経営状況を財務面からとらえ、その動きと変化を理解し、ビジネス統計を学習することを目的としている。 具体的には、企業会計 (簿記と数経営統計) の学習を通じて、ビジネスでのお金の動きをとらえていく。
全体の内容と概要	後期のビジネス統計学と合わせて、通年で簿記を学ぶ。各項目ごとに学習し、時間があれば、演習問題にトライする。前期は主に簿記用語や作業についての復習と演習を行っていく。
授業時間外の学修	日商簿記3級を目指す方は、本授業と問題集、資格試験対策練習を勧める。 授業外では、復習と表を作って書く練習をすることを勧める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	テーマ01 簿記の意義	オリエンテーションと簿記の意義について
2	テーマ02 財務諸表と簿記の5要素	簿記の全体像をつかむ、表をイメージする
3	テーマ03 日常の手続き	実際のビジネス取引を簿記にしてみるためのイメージ
4	テーマ04 商品売買I	仕入れ、売上を簿記にする、三分法、掛け
5	テーマ05 商品売買II	返品などの処理の際の手続き
6	テーマ06 現金・預金	現金・預金の考え方、簿記での表し方
7	テーマ07 小口現金	奨学支払いに利用している現金の簿記的処理
8	テーマ08 クレジット売掛金	主流になっているクレジットでの取引の簿記処理
9	テーマ09 手形取引	手形の意味と簿記処理方法
10	テーマ10 電子記録債権・債務	電子化された債権・債務の簿記処理
11	テーマ11 その他の取引I口	貸付・借入、利息、役員に対する金銭処理について
12	テーマ12 その他の取引II	有形固定資産、未収入・未払い金、修繕・改良の簿記処理
13	テーマ13 その他の取引III	仮払い金・借受金、給与、税金、諸会費の簿記処理
14	期末試験	期末試験、事前に範囲を確認し、その範囲での試験
15	フィードバックと全体のまとめ テーマ14 さまざまな帳簿の関係	期末試験結果のフィードバックと様々な帳簿の関係

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	TAC公式教材『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3級』
参考文献・資料等	TAC公式教材『よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級』
備考	日商簿記3級を目指す方は、本授業と問題集、資格試験対策練習を勧める。 授業外では、復習と表を作って書く練習をすることを勧める。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_ビジネスマナー I	(TCM115)
講義名 (コード)	TCM_ビジネスマナー I	(TCM115)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	高橋春子	時間数 30時間
成績評価教員	高橋春子	講義期間 春学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	卒業後の自分の進路について具体的に考えることができるようになる。
全体の内容と概要	卒業後の進路の選択の為に知識を習得し、自分で考え、計画を立てて、自分で動き始める。 就活に関する活動を実施する
授業時間外の学修	授業の中で、自分探しや企業研究等の作業を行うが、時間内にできなかった場合には、終了させてくることが推奨されることがある
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	卒業後の進路と日本の就活について・スケジュールと日本語の資格	卒業後の進路について。現時点での自分の考えを発表する。 日本の就活について知る
2	就活スケジュールとマイナビ登録	日本の就活のスケジュールについて学び、自分のスケジュールを考える マイナビについて知る
3	マイナビ登録	マイナビ登録をする
4	就活イベント探しとエントリー	1年生で参加するインターンシップや企業説明会のエントリーをする
5	自分探し	過去・現在そして将来の自分に考える
6	業界研究	業界について知り、自分が興味のある業界について調べる
7	職種研究	職種について知り、自分が興味のある職種について調べる
8	自分がマッチする業界とは？ 職種とは？	過去3回の授業で学んだ自分と業種や職種について考える。
9	企業研究	自分が希望する業界や職種を前提に、興味のある企業を探し、調べる
10	オンライン面接とは	就活でのオンライン面接について学び、練習する
11	個人面接	就活での個人面接について学び、練習する
12	グループ面接	就活でのグループ面接について知り、練習する
13	テスト前まとめ	これまでの学びについて復習し、テストに向けて準備する
14	期末テスト	学期試験
15	復習等	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	特になし
参考文献・資料等	必要な場合には 随時指示する
備考	授業の進度については、クラスの状況により変更することがあります。 マイナビ登録や履歴書の作成等を実施するのでPCを準備すること

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネスICT I	(TCM113)
講義名 (コード)	ビジネスICT I	(TCM113)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	伊藤 玲	時間数 30
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間 春期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	人間力における、社会人教育分野の学びの中で、学生がビジネスで使用されるデータ管理に必要なICT活用を習得して、MOS Excel 2021/365に合格できるExcelスキルを身に付ける。
全体の内容と概要	ビジネスに必須のMicrosoft Excelに関する操作スキルを身に付け、効果的なデータの集計・編集方法、実践的なワークシートやブックの管理、さらにネットワークドライブの利用ができるようにする。
授業時間外の学修	学習に使用するファイルはFOM出版のサイトからダウンロードできる。授業内でつまづいた部分などは各自復習しておくこと。
履修上の注意事項等	Excelの基本操作から学習するが、普段からPC操作やリボンやタブの使い方に慣れておくこと。尚、授業進度により、適宜内容を変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	ガイダンス Excel概要が理解できる	学校PCの使い方、WordとExcelの違い（拡張子等）、Excel基本操作、MOS試験の概要。ファイルはMicrosoftTeamsなどで配布。
2	Excelの基本操作およびCloud上のファイルが利用できる	Excelの基本操作（セルの基本操作、簡単な計算式の入力、オートフィル）、MicrosoftTeamsの使い方
3	表やセルの見た目を編集できる	セルの編集と表示形式、セルのスタイル、結合
4	基本的な計算機能を遣うことができる	手入力の計算、基本の関数（SUM、AVERAGE）、スパークライン ※MIN関数、MAX関数、COUNT関数
5	相対参照と絶対参照を使い分けることができる	相対参照・絶対参照
6	比率計算ができる	割合、率、比率の計算 ※構成比と絶対参照
7	表を作成し、計算式と関数の使い分けができる	関数および計算式、表作成の復習
8	Excelの基本のデータベース機能を利用できる	表をテーブルにする、条件付き書式、検索と置換
9	Excelのデータベース機能を利用できる	データの抽出、複数項目の並べ替えと解除
10	Excelのデータベース機能を利用できる	データの抽出、複数項目の並べ替えと解除
11	グラフを使用してデータを可視化できる1	棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ
12	グラフを使用してデータを可視化できる2	その他のグラフ
13	これまでの内容が実践できる	総合演習
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	今回は、学習教材として、linkedin「EXCEL基本講座」を利用する。このため、章立てなどの変更をすることがある。
参考文献・資料等	参考動画： https://www.linkedin.com/learning/excel-essential-training-microsoft-365-26102908/4037364?u=277640412
備考	スムーズな操作のために、各自、日本語の教科書などを復習し、よく使われる漢字の読みや日本で使われるビジネス用語を理解しておくことが望ましい。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_英語 I	(TCM101)
講義名 (コード)	TCM_英語 I	(TCM101)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	福島 ジェニー	時間数 30時間
成績評価教員	福島 ジェニー	講義期間 春学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	The objective of this class is to enhance students' English language skills both in spoken and written English that can be useful to communicate effectively in various situation at the hospital and other medical related industries. The lesson is incorporated with practical and methodological approaches to ensure a well balanced learning opportunities : learning through input, learning through output, deliberate learning,and fluency development.
全体の内容と概要	Each lesson includes of vocabulary building, role-play practice base on common hospital scenarios, listening comprehension activities and opportunities for feedback and reflection to ensure effective learning and practical application of English communication skills in hospital settings.
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	授業スケジュールと内容は、進行状況や祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	This unit, enable the students to acquire knowledge at the hospital reception. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation	Unit 1: Hospital Reception- Keywords: Registration form; Health insurance card; Registration card; Referral; Identification; Social insurance; National health insurance; Traveler's insurance; Residence card; First visit/ re-visit, return visit; Feverish; Photocopy; Bold section; Orthopedic surgeon; Reimburse
2	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 1: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
3	This unit, enable the students to acquire knowledge at the hospital guidance. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and	Unit 2: Hospital Guidance- Keywords: Registration; Admission counter; Window number; Laboratory; Pharmacy window: Cashier window; Emergency room; Nurses station; Business office; Information counter/General reception
4	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 2: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
5	This unit, enable the students to acquire knowledge about how to handle different situations on the phone at the hospital. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 3: Telephone Support- Keywords: Bus stop; bound for; consultation times/hours; Visiting hours; Cold; National holiday; Outpatient; Inpatient; Local train; Limited express
6	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 3: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
7	This unit, enable the students to acquire knowledge on accounting and other related matters. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation	Unit 4: Accounting- Keywords: Medical expense(s); First visit fee; Consultation fee; Medical certificate; Medical record/Medical chart bill/ Invoice; Itemized bill/ Detailed
8	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 4: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
9	This unit, enable the students to acquire knowledge on reservation and grammatical functions based on the topic. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 5: Reservation- Keywords: Internal medicine; Return appointment; Appointment slip/ slip for one's return visit; Results; Usage of whenever; Receptionist; Usage of available; Flu/influenza; Vaccination; Shot/ injection
10	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 5: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
11	This unit, enable the students to acquire knowledge about hospital life. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 6: Hospital life- Keywords: Daily necessities; Nightwear/ pajamas; Underwear; Towel; Valuables; Personal belongings; Wake-up time; Bedtime; Lights-out; Admission/ hospitalization; Brochures/ pamphlet; Halal food; Muslim; Vending machine; ATM (Automated Teller Machine)
12	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 6: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
13	Skills evaluation	Pre-examination activity and review
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Situational Communication Skills for Hospital Staff
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_表現研究	(TCM105)	
講義名 (コード)	TCM_表現研究 I _A	(TCM105A)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	2単位
授業担当者	伊東かつみ	時間数	30時間
成績評価教員	伊東かつみ	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N1レベルの文字語彙と聴解を学び、薬や病気の症状を正確に説明できるようにする
授業時間外の学修	動画の視聴
履修上の注意事項等	試験会場と同様、携帯電話の使用は認めない。常に試験会場と同じ気持ちで受験すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	発音の基礎；モーラの理解、正しい発音の事故訂正ができる。	オリエンテーション、・ゲームのルール、・成績の評価基準の説明、・日本語の発音基礎、・日中漢字変換の原則と実施練習
2	通訳者の倫理と原則が理解できる	●日本語の文化理解；端午の節句、●聞き取りと発音練習：ん、促音、長音・短音、濁音・清音 ●漢字の読み方発音練習 ●体の部位練習 ●N1 聞き取りについて、間違い探しと分析、●クイズ 変な日本語訂正●テキスト 伝え方
3	体の部位を日本語で感じ取れる聞きとりができない原因を理解できる	1-1. 通訳理論 (1) 訳すということ (2) 文化をどう訳すか (3) 通訳者が担う責任、(4) 等価なメッセージとは (5) 言語使用関 (6) 三者二言語モデル ◎そこ、あそこの使用法◎イ形容詞とナ形容詞の区別
4	通訳の技術の理解、自己評価が客観的にできるようになる	・通訳の必要な技術、 ・自己評価の仕方
5	日本人の空気の読み方への適用ができる。人間関係の問題対処方法を理解できる	・対人通訳とは ・日本人の空気の読み方 ・
6	通訳者の基本的な立場が理解できる	・通訳とは ・医療通訳者の役割
7	日常使える尊敬語、尊敬語の規則を体で覚えらる	・敬語；尊敬語・体を使った練習 ・場面演習
8	動詞の基本形と尊敬語と謙譲語がすぐに言えるようになる	・敬語；謙譲語 ：体を使った練習、・場面演習
9	敬語の活用がスムーズにできる	・敬語の復習・アクセント ・聞き取り ・使役形と受け身形、・られる：可能形、尊敬語、受け身
10	通訳の過程の理解	・受け身形の意味 ・通訳のプロセス
11	助詞の区別ができる、助詞を推測できる	・助詞の基本、固有名詞のアクセント・ 聞き取りの間違い分析
12	医療の倫理観を身に着ける	・通訳の倫理、・期末テストの範囲発表、準備
13	活字資料を朗読、通訳できる。	・期末テストの練習、間違い分析
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	・間違いの分析と原因究明、対策、・夏休みの目標発表

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布）
参考文献・資料等	日本語基礎文法のppt：「漢字の音読みと中国語の変換に関する原則と練習」 「中国人の効果的な日本語の学習法」「助詞の使い方」、「こそあど」、「聞き取りの方法」「医療用語のオノマトペ」「聞き取りゲーム」など
備考	毎回のルーチン①出席一言作文、②毎日N1即時応答2問、作文訂正、よくある必要な表現